

経済指標レポート 第247号

(社) 関西経済連合会 経済調査部 (担当: 田村)

Tel: 06-6441-0102 Fax: 06-6441-0443

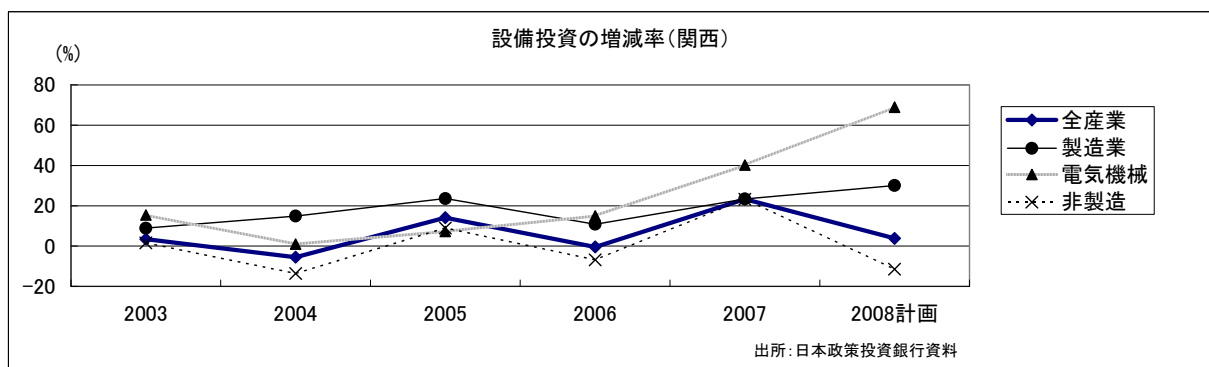
関西地域の2008年度設備投資計画 3.8%の増加

日本政策投資銀行が5日に発表した「2008年度 関西地域設備投資動向」によると、2008年度関西地域における設備投資計画(対象は、原則、資本金1億円以上の金融保険業等を除く民間法人企業)は、前年度実績比3.8%の増加(07年度23.3%増)となった。全国は08年度2.9%増(07年度6.7%増)。業種別にみると、非製造業11.5%減(07年度23.2%増)で、百貨店等の増床、新設計画はあるものの、都市部の大型開発が一段落する不動産、鉄道建設が一段落する運輸の落ち込みが大きく影響した。一方、製造業は30.1%増(07年度23.4%増)と大幅に拡大。一般機械や輸送用機械はじめとする多くの業種で増加したが、特に薄型ディスプレイ投資に関連のある電気機械、窯業・土石、化学の増加が大きい。

大阪湾周辺では、2009年以降、松下電器産業 プラズマディスプレイパネル第5工場はじめ、大型生産設備投資が次々と完工する。7月に財団法人関西社会経済研究所が発表した関西2府5県への「大阪湾岸大型設備投資の経済波及効果」の試算によると、これら初期投資による経済波及効果は7550億円で2005年度の関西地域の名目GRP(約84兆円)の0.9%、フル稼働状態での経済波及効果は1兆5320億円で名目GRPの1.8%に相当する。

原油高・原材料高により景気の不透明感が増すものの、引き続きこれら設備投資による増産等が関西の景気を下支えするものと期待される。しかし、真のものづくり関西の復権には、これら薄型ディスプレイ関連産業の集積を新たな産業の創出につなげていく必要がある。

各指標の動き



大阪湾岸大型設備投資の経済波及効果

単位: 億円

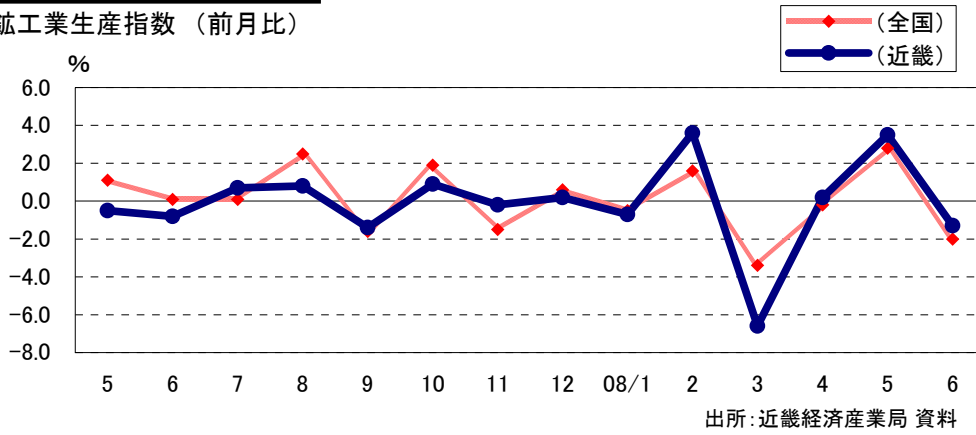
	シャープ(堺) 液晶ディスプレイパネル工場 太陽電池工場	IPSアルファテクノロジー(姫路) 液晶ディスプレイパネル工場	松下電器産業(尼崎) プラズマディスプレイパネル工場 (第3、4、5工場)	住友金属工業(和歌山) 新高炉	合計
初期投資(土地代含む)	4,520	3,000	5,500	2,500	15,520
経済波及効果(初期投資)	2,027	1,402	2,635	1,486	7,550
経済波及効果(製品出荷)	6,243	3,516	4,864	697	15,320

* 経済波及効果は、直接+一次・二次の付加価値額への波及効果

出所: 財団法人関西社会経済研究所資料

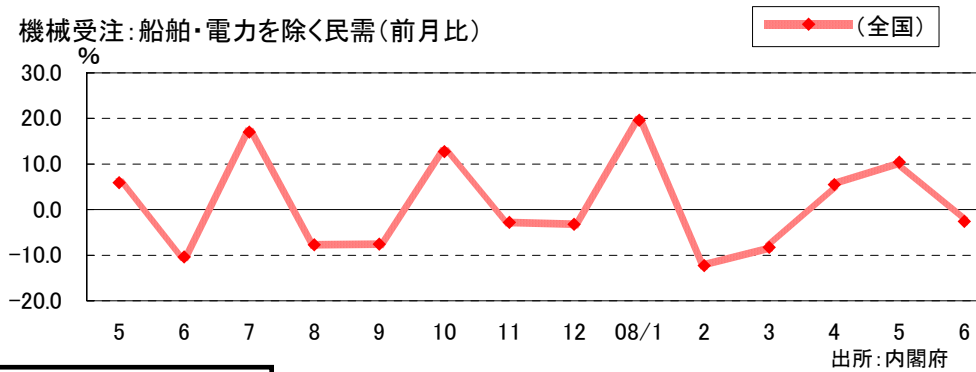
生産・機械受注 低下

鉱工業生産指数（前月比）



◇近畿は前月比 1.3%減 3ヶ月ぶりの低下。業種別では、電子部品・デバイス工業、一般機械工業、輸送機械工業(除、鋼鉛・鉄道車両)が低下。品目別ではコンパヤ、PDP モジュール、開閉制御装置の順に低下に寄与。

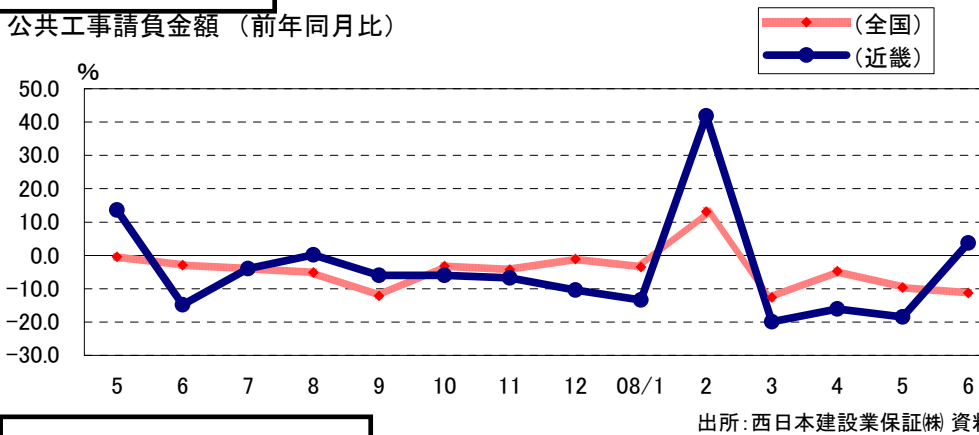
機械受注: 船舶・電力を除く民需(前月比)



◇機械受注は前月比 2.6%減となった。業種別の受注は製造業が同 3.9%増、非製造業(船舶・電力を除く)が 3.3%減となった。

公共事業 増加

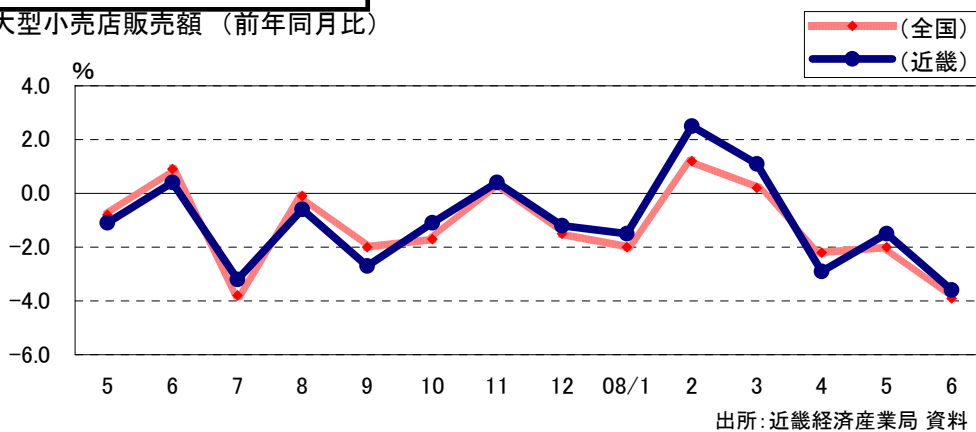
公共工事請負金額（前年同月比）



◇近畿は前年同月比 3.7%増。発注者別では国で半減、府県・その他公共団体で大幅減となったものの、独立行政法人等が倍増(栗東トレーニングセンターや第二京阪道路、阪和自動車道の大規模工事が寄与)、市町村で大幅増となった。

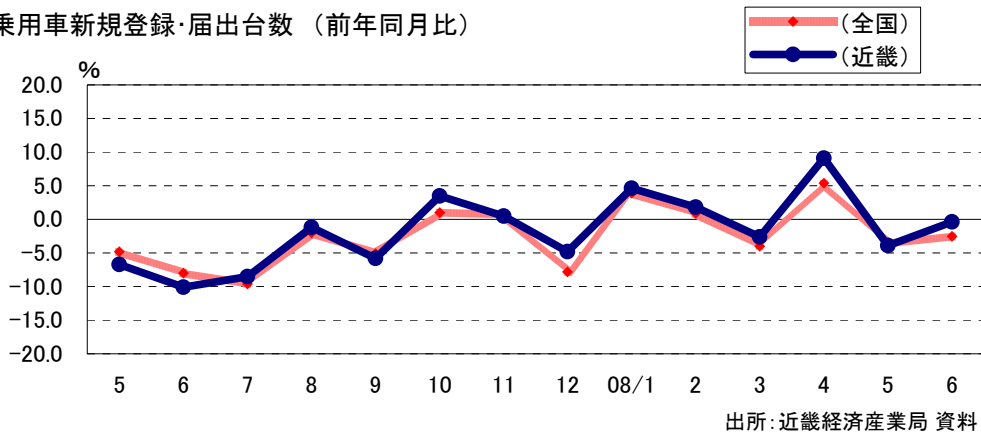
消費・住宅 減少

大型小売店販売額（前年同月比）



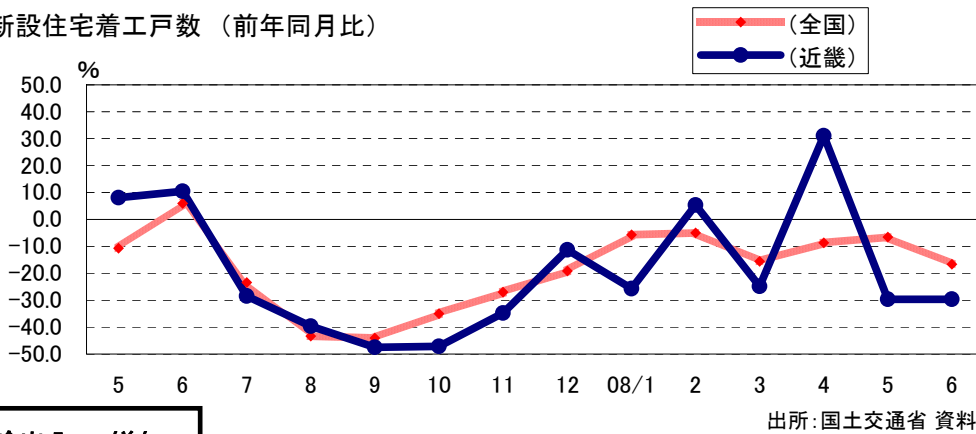
◇近畿は既存店ベースで前年同月比 3.6%減と 3ヶ月連続の減少。業態別では、百貨店が同 5.4%減で 16ヶ月連続のマイナス、スーパーは同 1.1%減と 18ヶ月ぶりのマイナス。

乗用車新規登録・届出台数（前年同月比）



◇近畿は前年同月比0.4%減と2ヶ月連続で前年を下回った。普通車は12ヶ月連続で前年を上回ったものの、小型車、軽四車はそれぞれ2ヶ月連続で前年を下回った。

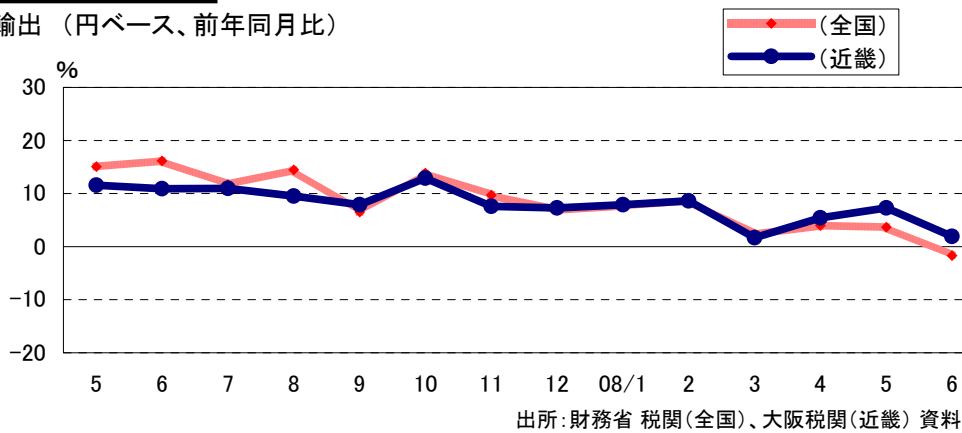
新設住宅着工戸数（前年同月比）



◇近畿は前年同月比29.6%減と2ヶ月連続の減少。持家は17ヶ月連続、分譲住宅、貸家とも2ヶ月連続で前年を下回った。

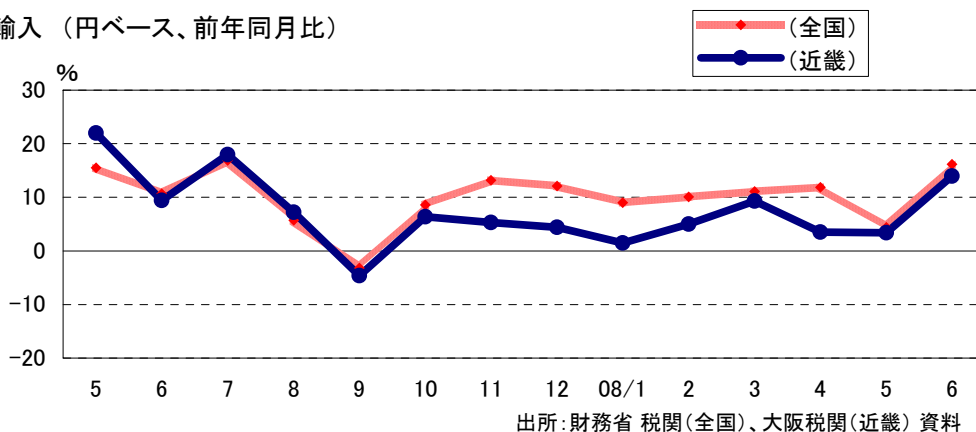
輸出入 増加

輸出（円ベース、前年同月比）



◇近畿は前年同月比1.9%増で75ヶ月連続のプラスとなった。特に、鉱物性燃料、音響・映像機器部分品が増加。アジア向けは4.2%増で76ヶ月連続のプラス。米国向けは8ヶ月連続のマイナス。全国は1.7%減。

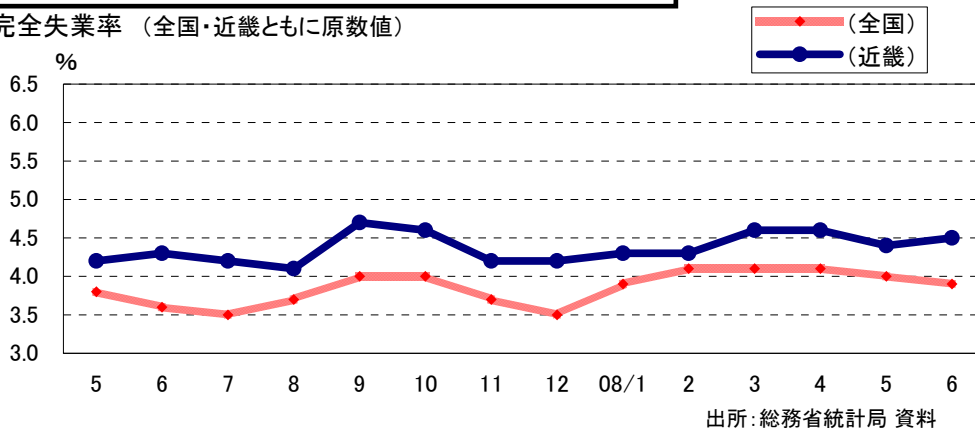
輸入（円ベース、前年同月比）



◇近畿は前年同月比14.0%増と2ケタの増加となり、9ヶ月連続のプラス。過去最高額を更新した。要因は、原油、液化天然ガス(LNG)のほか、穀物、鉄鋼も増加。中国は食料品が大きく減少し、3ヶ月連続のマイナス。

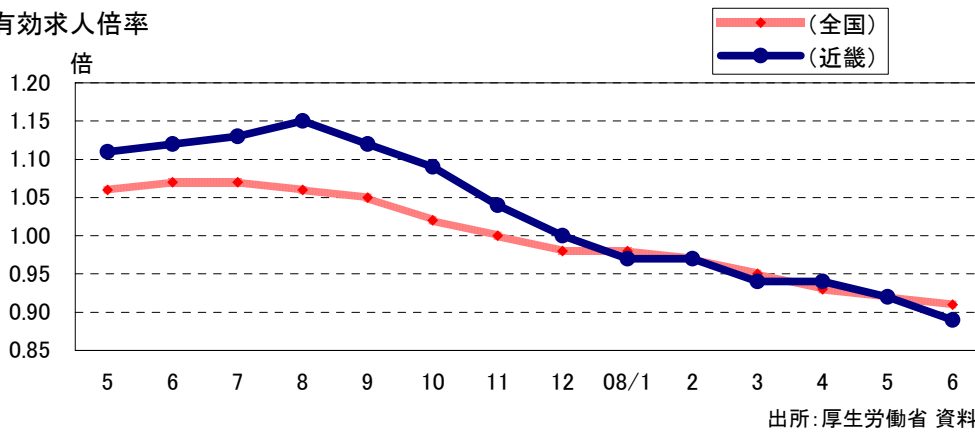
雇用・倒産 雇用はやや弱い動き 倒産件数は増加

完全失業率（全国・近畿ともに原数値）



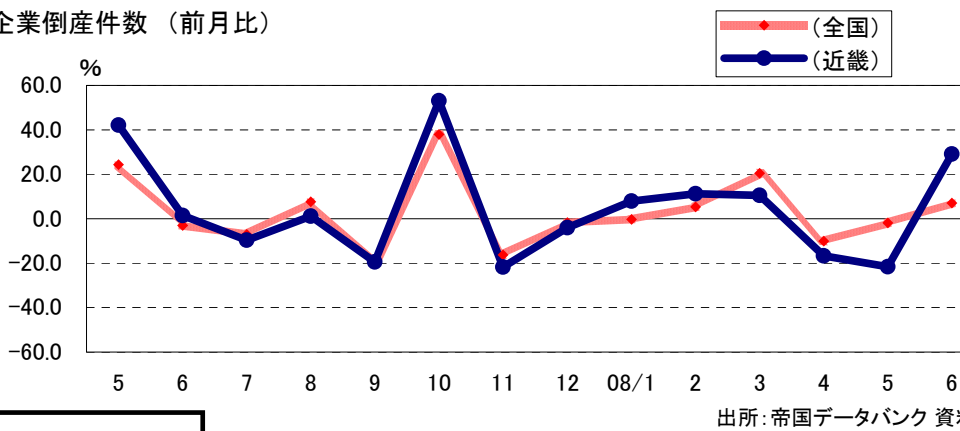
◇近畿の完全失業率は4.5%、2ヶ月連続で前年を上回った。全国は3.9%。

有効求人倍率



◇近畿は0.89倍となり前月から低下した。新規求人倍率も、1.23倍と前月から低下した。

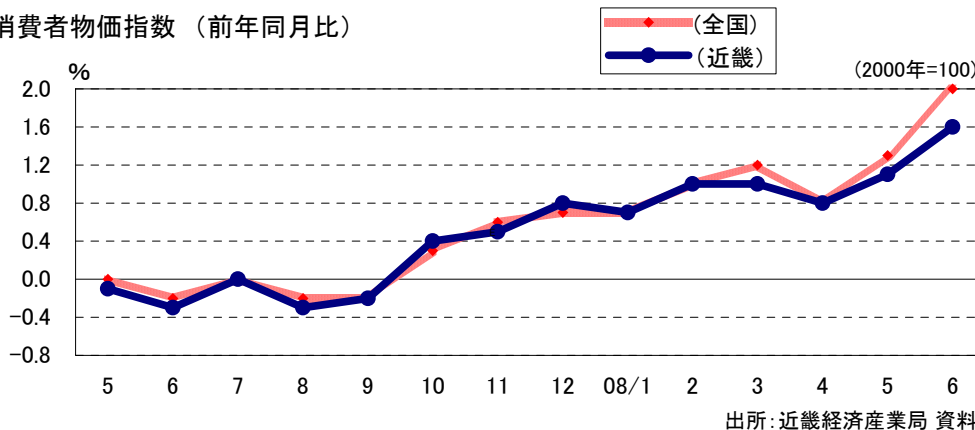
企業倒産件数（前月比）



◇近畿の倒産件数(法的整理による倒産)は前月比29.1%と大幅増加。業種別構成比ではサービス業が26.3%、次いで建設業が22.6%と両者でほぼ半数を占めている。

物価 上昇

消費者物価指数（前年同月比）



◇近畿は101.6で前年同月比1.6%増で、9ヶ月連続で上昇。品目別では、光熱・水道、食料、交通・通信が上昇。